

救急入院センター

1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 平松 和洋（一般外科兼任）、副センター長 中島 基晶（麻酔科兼任）、菅沼 伸一（呼吸器内科兼任）で運営し、現在に至っている。当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は2013年以来、継続して12床で運営してきており、特定救命救急病床加算算定件数においては、2013年度は2,713件、2014年度は1,950件、本年度は1,591件と2年連続減少傾向にある。2015年4月～2016年3月までの各月の推移は以下のグラフのごとくである。加算の多くは例年通り3日以内で、昨年の統計と比較すると冬に多く、夏から秋にかけて減少する傾向は変わっていない。月ごとや、加算内容に大きな変化はなく、減少は患者全体の減少によるものと考えられた。

例年通り本センターの当直体制はセンターのメンバーだけでなく各科部長にも委託して行い、夜間入院患者の救急処置に当たってきたが、2015年度は特に大きな問題なく経過した。

（センター長 平松 和洋）

2. 活動報告

(1) 平成27年度 救命救急入院料算定件数

点数名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
救命救急入院料 (3日以内)	104	93	102	105	109	89	114	99	137	109	103	108	1,272
救命救急入院料 (4日以上7日以内)	19	14	28	17	23	8	15	26	29	9	15	8	211
救命救急入院料 (8日以上14日以内)	10	5	18	12	9	7	4	19	11	3	7	3	108
計	133	112	148	134	141	104	133	144	177	121	125	119	1,591

(2) 平成27年度 救命救急入院料算定件数

